

NICE

Numazu association for International Communications & Exchanges

Vol.65

発行日 2008年4月15日
発行者 NICE 沼津国際交流協会
(企画広報部会)
所在地 沼津市御幸町16番1号
(事務局) 沼津市役所地域づくり推進国際交流室内
☎055-934-4717



実り多い年度でした。
…技能五輪国際大会もあり…

岳陽部会

第16回春節祭！

春節祭に参加して

荻野みどり

2月10日、キラメッセぬまづで開催された春節祭の朝はきりりと冷たく晴れわたりに、会場に着いた時、私の目に飛び込んだのは、最後の飾り付けで飛び回るスタッフの姿と、予想以上に高さのある舞台でした。その舞台を見ただけで緊張感が増しました。

私たち太極拳のグループが参加するのは初めてのことで、本場中国の人たちもいるであろうその場所で私たちの太極拳が楽しんでもらえるのかと、期待と不安が入り混じり、その日を迎えました。

午前部の部、力強い和太鼓の音で幕が開き、次から次へと出し物が続き、客席も賑わって、いよいよ私たちの出番！

小学2年生の恵ちゃんは、落ち着いてカンフー体操を表演し拍手をもらう。次は太極拳。太極拳のゆったりした動作とはうらはらに私の心臓はドキドキとやけに早い。それでも温かい拍手をもらい、仲間と笑顔になる。

あっというまに時間が過ぎ、最後の福引きで大賑わい！

皆喜んでくれたかな！ 今年の春節祭。



春節祭に参加して

飛龍高等学校 和太鼓部 久我谷未来

私たち飛龍高等学校和太鼓部は、創部4年目になりました、部員数は21名ですが、先輩・後輩の絆を大切に、和気あいあい、部員一同退部者もなく頑張って練習しています。

週末、学校が休みの日には、いろいろな場所に公演に行き練習の成果を聞いていただいています。その中でも特に2月10日にキラメッセぬまづで行われた国際交流会では、日本人だけではなく、中国をはじめ他国の人々に和太鼓の演奏を聞いていただく機会が与えられ、感謝の気持ちでいっぱいです。私たちは外国の方々に和太鼓の良さを分かっていたきたい気持ちから精一杯演奏しました。

その甲斐があって、温かい拍手をもらうことが出来ました。外国の方々には和太鼓を観て聞いていただくことがめったにないので、拍手をもらえてとても嬉しくて、今年ももっと練習を頑張ろうという気持ちになりました。

春節祭に参加していただいた方々やスタッフの方々に感謝申し上げます。



平成19年度 後期中国語教室

●中国語に興味があるわけ●

原 疆一

今回中国語初級の呂先生の講座に出席し熱心に教えて頂き、次回も続けて受講したいと思いました。

数年前、日中国交30周年の旅行に参加した事がありました。人民大会堂で30周年の式典が行われそこで豪華な料理を頂きました。家に手紙を書くので旅館のレジで、旅行用の教本を見ながら切手とはがきを注文したら、勉強したわけでもない発音でも通じたらしく手紙や切手を出してくれました。言葉が通じたという事でうれしさ一杯でした。北京では山の背に築かれた万里の長城を見学し規模の大きさに驚き、西安では兵馬俑を見学し遺跡の数の多さに感動しました。実際の遺跡を見学し中国の歴史に魅せられ中国語の勉強をしたいと思いました。

平成19年度 第2回中国料理教室

赤池 紀子

今回は、母と二人で参加させていただきました。金目鯛の唐揚げは家庭ではなかなか作れない豪華な料理で、魚への包丁の入れ方、丸ごと一尾の魚の揚げ方を指導してもらい、とても参考になりました。食事時には藤沢先生のご厚意でニラレバを作ってくださいました。

食事が終わると料理の説明もあり、実際作っていたときに見落としていた点も判り大変になりました。

最後に、藤沢先生、教室を運営してくださったスタッフの皆さま、本当にありがとうございました。



●中国語講座感想文●

鈴木 雅史

以前、中国を旅行した折、筆談である程度意思の疎通は図れましたが、口頭のやり取りでは全く通じず、歯がゆい思いをしたのを機に、中国語を習いたく思うようになりました。ラジオの講座を受講したりもしましたが、発音だけは一人ではどうにもならず、先生について練習したいと思い、今回この入門コースに申し込みました。

3か月という短い期間ではありましたが、陳先生のご指導の下、発音の基礎を一通り、楽しく学ぶことができました。期待通り、間違ったら丁寧に教えてくれるので、受講した甲斐がありました。

まだまだ未熟ですが、来期は初級コースでステップアップを図りたく思います。

スポーツで国際交流

3月2日(日)、ふれあい部会企画のもと勤労者体育センターにおいて国際スポーツ交流会が開催されました。少し肌寒い日でしたが、桃の花の満開の中フィリピン・中国・アメリカ・ガーナのそれぞれの国の人々が参加されました。

スポーツ大会というより交流会を目的にしていますが、やはり怪我の無いよう準備運動から始めます。ストレッチで「痛っ！」などの声が聞こえてきます。「無理をしないでくださいね～」と、初対面の方々と和気あいあいと笑いあいます。

その後、バドミントン・ビーチバレーが国際交流ルール(?)で進行していきます。あまり得意でないスポーツにも声を掛けられ自信なげに参加した人も、終了する頃には、すっかり顔を紅潮させていました。そして、また次の種目に参加です。

コート準備時間がティータイムです。少しばかりのお菓子と飲み物でそれぞれのお国のことなど交流が始まります。その後、バレーボール・バスケットボールとそれぞれを楽しみ、最後は10人11脚で大いに笑い転げた1日でした。

来期も国際交流協会の行事で逢いましょう!

カラマズー部会

カラマズー留学生だより

曾布川 葵

予定出発よりも1か月遅れでカラマズーにやっ
 と来る事が出来ました。でも、こっちに来て1
 週間しかたっていないのに…急にホストファミ
 リーが変更することになりました。沼津側では
 変更しないと言っていたのに、カラマズー側で
 はもともと変える予定だった事を聞き、すごく
 驚きました。しかも、それぞれに変更した理由
 も違っていたので、沼津とカラマズーのやり取
 りなどがしっかり出来てないのかと、すごく不
 安を感じました。そして、子供ながらにしても、
 この事や出発遅れのことに、物や動物を扱
 うように自分が動かされているように少し感
 じられました。

こちらの生活にはすぐになれることができ、
 ホームシックにもかからないで楽しく過ごして
 います。でも、最初のころは相手の言っている
 事がまったくわからず、聞き取ることもできな
 かったり、自分の意思を伝えられず、固まって
 いるばかりで上手くコミュニケーションをとる
 事が出来なく、今後やって行けるのか自分自身
 に不安を抱き悩みました。

それが、2か月もすると相手の言っている事
 が少しずつ理解出来るようになり、英語の聞き
 取りがすごく楽になりました。でも、未だにちゃ
 んとした会話というものができなく、片言で言
 葉を投げ返すのがやっとな状態です。自分の努
 力の足りなさが感じとれました。改めて感じた
 のは、言葉でしっかりと伝えないと相手に何も
 伝わらないということ。だから、友達もなかな
 か作る事ができなく、指で数えられる程しかい
 ません。少ない友達しかいないけど、彼らはい
 つも授業中に私が困っていたりすると助けてく
 れます。だから、授業にもすぐに慣れ楽しむこ
 とが出来ました。

ここでの授業は、日本との違いを多く見つけ
 る事が出来ました。たとえば、常にパソコン
 を使っていたり、黒板の代わりにスクリーンで
 説明したりなど…。あと、宿題もプレゼンテー
 ション・ポスターなどの作成があったりして、
 日本とは違って大変でした。

振り返ってみると、何もする事が出来なく、
 あっけなく4か月が過ぎ去っていったような気

がします。これからは、貴重な残りの何か月か
 を大切に過ごし、なんにでも積極的に取り組ん
 でいきたいです。そして、少しでも早く会話を
 楽しむことが出来るようになりたいです。その
 ためには、自分から言葉を発するようにしないと
 いけないなと思います。

ここに来た目的を見なおして、自分に負けな
 いよう、これでもかかってくらいに努力したいで
 す。

(2008年1月16日)



出発時からいろいろと苦労をされていますが、
 その一つ一つが貴重な経験となり、将来きつ
 と役に立つことと思います。

残りの留学生生活を、さらに有意義に過ごし、
 一回りも二回りも成長して帰国してくださいね。

ベトナムのクッキングサロンを終えて

2月3日(日)、第一地区センターにおいて、ベトナムのクッキングサロンが開催されました。参加者20名とスタッフ11名が、ベトナム出身のレイ・ティ・ホン・ヴィンさんとともにベトナム料理に挑戦し、会食を楽しみました。美しい日本語を話すレイさんは当日、体調が優れないにもかかわらず、終始笑顔で、本当に魅力的な方でした。

ベトナム料理は中華料理やフランス料理の影響を受けていて、タイ料理ほど辛くなく癖もないので、ぜひ、家庭でも挑戦して欲しい。また料理を通してベトナムを理解して欲しい。というレイさんの思いが伝わる国際交流サロンとなりました。

【メニュー】

- 揚げ春巻き
- フォー（米粉めん）
- チュー（ベトナム風ぜんざい）



平成19年度『日本語を語る会』講師勉強会

3月9日(日)に『日本語を語る会』の講師勉強会が開催されました。この勉強会は、国際理解教育部会が担当している『日本語を語る会』で日本語ボランティアとして在住外国人に「生活に必要な日本語」を指導している講師の研鑽のための勉強会です。今年も40名以上いる講師の約80%が参加しました。

午前の部は、静岡大学国際交流センターの原澤伊都夫教授による異文化理解をテーマにした講義で、まず文化とは何かを考え、次に外国人とのおつきあいの中で生じたトラブルについて、日本人の気持ちと外国人の気持ちの両面から考え、どのように解決したら良いかについて話し合いました。

【一部をご紹介します】

文化には「見える文化」と「見えない文化」があり、価値観・規範・道徳観などは「見えない文化」の部分です。それは氷山に例えることが出来、見えない部分が圧倒的部分を占めています。このような「見えない文化」は子供の頃から自然に身についた常識であるため、そうではない考えを理解するのは容易ではありません。外国人に「郷に入れば郷に従え」と日本の習慣を押し付けるのではなく、外国の習慣を受け入れることの難しさを理解して一緒に協力していく姿勢を持ちましょう。

午後の部は『日本語を語る会』で使用している教科書『みんなの日本語』を監修した目白大学大学院の石沢弘子教授による講義で、今年度は助詞の用法の指導法が中心でした。石沢先生の軽妙な話術による解り易い講義に一同昼食後の眠気も感じる事無く聞き入っていました。



◀ 午前の部

午後の部 ▶

留学しませんか？

中国湖南省岳陽市（沼津市の友好都市） 湖南理工学院への短期公費留学生募集

沼津国際交流協会は、沼津市の友好都市、中国湖南省岳陽市へ1991年から留学生を派遣しています。2006年からは3か月間の公費留学生を派遣しており、今年も募集します。

募集期間：2008年4月21日～5月30日

留学先：湖南理工学院

留学期間：2008年8月末から3か月間

科目：①中国語 } ①～③から1科目
 ②中国画 }
 ③太極拳 }

留学費用：

学費、教科書代、宿舎は3か月間免除。
 教科書以外の教材費と食費、医療費、光熱費、
 電話料金や宿舎備え付けの備品以外の生活用具代などは自費。
 その他（渡航費、渡航に係るビザ手続き費などは自費）

申込資格：

- ・沼津市在住または在勤の高校卒業以上で健康な人。
- ※大学生は実家が沼津市内にある人。
- ・帰国後、沼津国際交流協会の活動に参加できる人。

定員：2名

申込方法：

下記のものを事務局まで郵送または持参してください。

- (1) 所定の申込書と写真
- (2) 小論文
 タイトル「私の考える中国」800～1,200字
- (3) 成績証明書
 （最終学歴または在学中の学校の成績証明書）
- (4) 卒業証明書（最終学歴）

申込締切：2008年5月30日(金)

当日の消印有効

選考会：面接を行います。

日時：2008年6月6日(金)

13:30～16:00

場所：沼津市民文化センター 第3会議室

平成20年度総会・懇親会

沼津国際交流協会の最も大切な行事である総会および懇親会が、下記の日時で開催されます。

万障お繰り合わせの上、一人でも多くの会員の皆さまのご参加をお願い致します。

1. 総会

(1) 日時：平成20年5月17日(土)
 18時～19時（予定）

(2) 場所：ホテル沼津キャッスル
 2階 ブライトン

(3) 内容：

- I 平成19年度事業報告
- II 平成19年度決算報告・監査報告
- III 役員改選
- IV 平成20年度事業計画
- V 平成20年度収支予算
- VI その他

2. 懇親会

(1) 日時：平成20年5月17日(土)
 19時15分～21時（予定）

(2) 場所：ホテル沼津キャッスル
 2階 ブライトン

(3) 会費：3,500円

※懇親会に申し込まれた方で、当日キャンセル又は無連絡でのご欠席の場合は、後日会費をいただきます。

3. 年会費

(1) 個人会員 3,000円
 （学生1,500円）

(2) 団体・法人会員 10,000円

(3) 賛助会員 一口5,000円一口以上

お問い合わせ

沼津国際交流協会事務局

〒410-8601

沼津市御幸町16-1

Tel 055-934-4717

Fax 055-934-2582